

令和5年度
小値賀地域史研究講座 第1回特別講座（公開）

長楽寺旧蔵 十一面観音坐像拝観会

かつて、小値賀の西沖に浮かぶ美良島にあったと伝わる長楽寺。明治期に廃寺となり、本尊の十一面観音坐像は長寿寺へと移されました。今から約1,000年余りも昔に製作されたと言われる、大変古い仏像で、いにしえより、小値賀の人々に手によって大切に守り、受け継がれてきた、町の大切な文化財の一つです。



日 時：令和5年12月10日（日）
10:00～11:00

場 所：長寿寺(雨天決行)

講 師：井形 進

九州歴史資料館学芸研究班長（学芸員）
小値賀町文化財調査委員会委員

【講師プロフィール】
井形 進（いがた すすむ）

昭和46年（1971）福岡県北九州市に生まれる。
平成7年（1995）九州大学文学部美学美術史専攻卒業。
同年より九州歴史資料館に美術工芸担当学芸員として奉職。

現在、同館学芸調査室学芸研究班長。

主たる専門は仏教美術史。九州における信仰と造形の歴史について調査研究を進めている。

著書に『薩摩塔の時空 異形の石塔をさぐる』（花乱社・2012年）、『福岡県の仏像』（共著・海鳥社・2014年）『九州仏像史入門 太宰府を中心に』（海鳥社・2019年）などがある。

平成15年（2003）第10回鹿島美術財団賞受賞。

平成31年（2018）より小値賀町文化財調査委員会委員。

参加料：無料

申し込み：教育委員会（56-3838）

※12月8日（金）12:00まで

小値賀町教育委員会では、町の貴重な文化財の保存並びに活用を目的として、町内の彫像や絵画等に対する調査を実施しています。令和3年度には、長楽寺旧蔵十一面坐像の詳細調査を実施しました。

今回の拝観会は、調査を担当された井形進氏（九州歴史資料館学芸研究班長（学芸員）・小値賀町文化財調査委員会委員）をお招きし、最新の調査結果に基づく、解説をお願いしています。

主催：小値賀町教育委員会 協力：長寿寺